

LEARNING STYLES



社会貢献と革新を生み出す 共創拠点としてのキャンパスへ。

学内・学外を問わず、さまざまな人と連携しながら
教育研究の発展や新しい産業の創出を目指す
「イノベーション・commons(共創拠点)※」としての
在り方が期待されるこれからの大学。
キャンパスも、さまざまな分野の人や用途に
対応できる場であるべきだとオカムラは考えます。
知恵と熱気と感性が入り交じる場にこそ、
社会に貢献できる新しい発見や革新が生まれる。
わたしたちオカムラは、これまでにない価値を生み出す
創造的なキャンパスを実現します。

※イノベーション・commons(共創拠点)とは？

あらゆる分野、あらゆる場面で、あらゆるプレーヤーが共に創造できるキャンパスのこと。
教育研究施設だけでなく、食堂や寮・屋外空間なども含め、
キャンパス全体が有機的に連携した「共創」の拠点を指す。

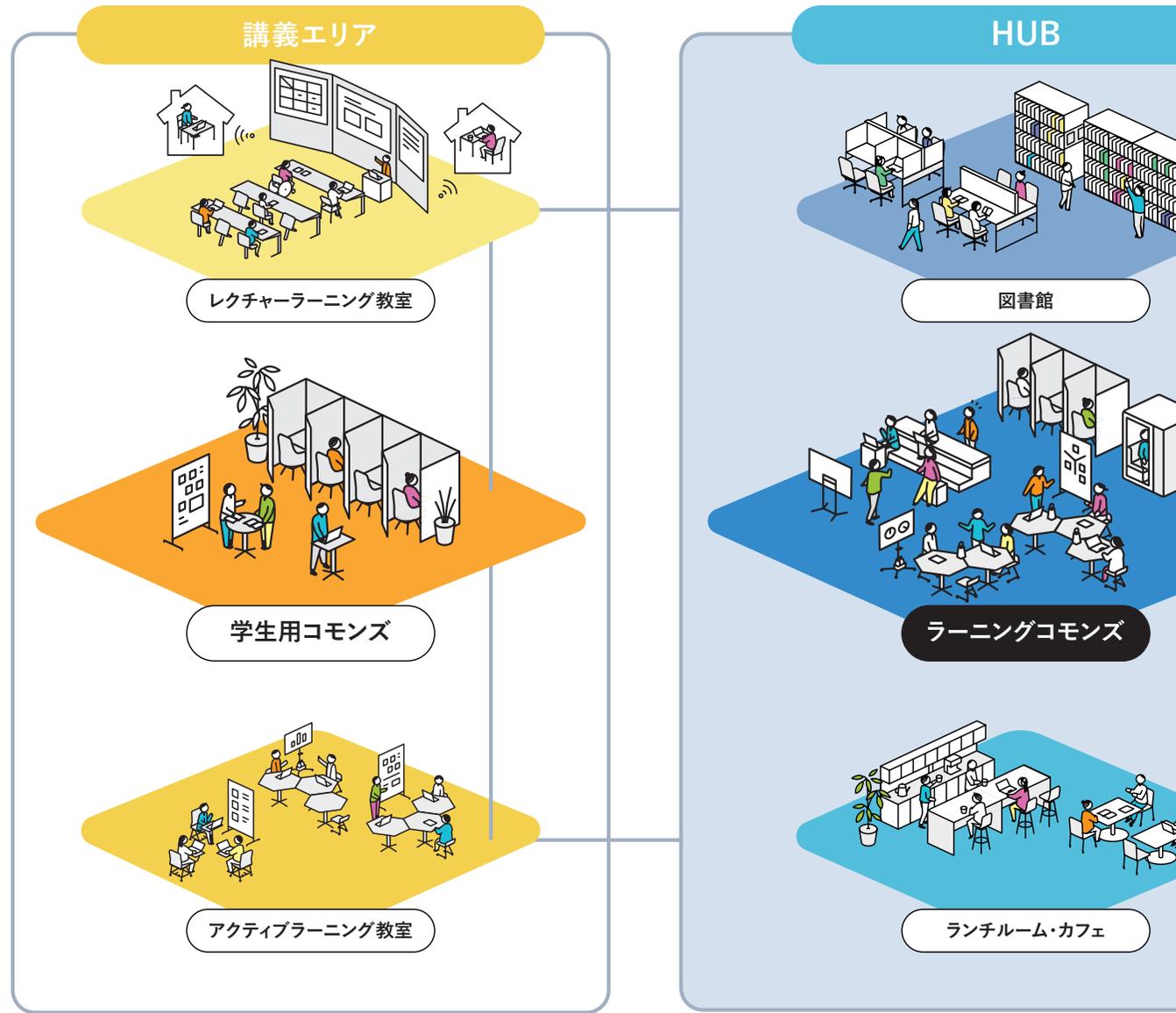




FOR INNOVATION

9の空間と学びの行為をつないでつくる、 これからの大学。

大学を創造的な共創拠点とするために、
オカムラは人と人の活動と学びを9の空間に分類し、
あるべきキャンパスの姿を考えました。
ラーニングcommonsや図書館などをHUBとして、
知識を吸収するための講義エリアと、
学生・研究者を支援するキャリアセンターなどの
サポートエリアを2分にして配置。
さらに屋外空間やサテライトキャンパスに至るまで
有機的につなげることでイノベーションの土壌をつくります。



サポートエリア



キャリアセンター
(管理・支援エリア)



オープン・
ラボラトリー

研究エリア

ラボラトリー



ドミトリー

オカムラが考える 空間をつくる上で大切な学びの行為



情報収集



ひらめく



リラックス



ディスカッション



グループワーク



ペアワーク



パーソナルワーク



熟考する



発表する



自宅学習



オンライン学習



リモート



対面



講義



つながる

学びの行為を15個に分類しました。学びの場をつくる際に、
これらの行為が行われる場を設けることが重要です。

LEARNING COMMONS

創造的な学びを実現する 5つのアクション

ラーニングコモンズは、学生同士が出会い
お互いの考えを交換しながら、新しい発見を見つける場所。

共通の目的を達成するための協同作業を通し、
個人の考えをより深めることで
画期的で、独創的な結果を生み出すことが大切です。

オカムラは、ラーニングコモンズを
Catch Up(出会う)、Communication(つながる)、
Collaboration(協業する)、Personal Work(熟考する)、
Presentation(発表する)の5つのアクションを
つないで叶える、ひとつの空間として構成。
学生たちの創造的な学びと成長の場づくりを実現します。

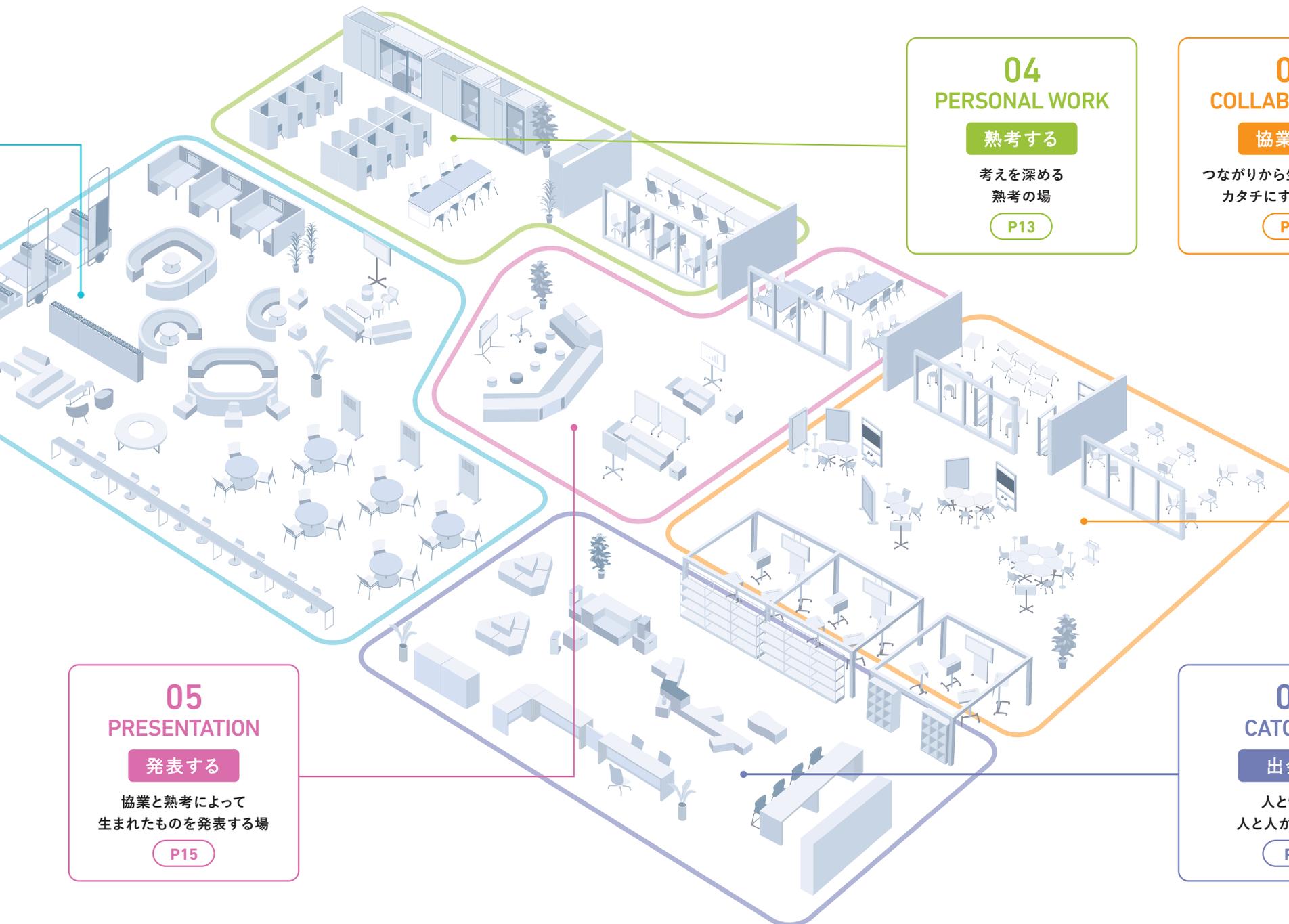


02 COMMUNICATION

つながる

出会った人や情報が
つながる場

P9



04 PERSONAL WORK

熟考する

考えを深める
熟考の場

P13

03 COLLABORATION

協業する

つながりから生まれたものを
カタチにする協業の場

P11

05 PRESENTATION

発表する

協業と熟考によって
生まれたものを発表する場

P15

01 CATCH UP

出会う

人と情報、
人と人が出会う場

P7

01 CATCH UP

出会う

人と情報、人と人が出会う場

学生がラーニングcommonsで最初に訪れる場です。オープンな空間で情報と人に出会う為に「人を集める」、仕組みと仕掛けが必要です。

POINT

- 情報発信が常にされていて、そこに行けば情報に出える
- 座り方も、集まり方も、行動も、各自が自由に行える



↓ こちらからBIMデータ等をDLできます。



※意匠登録済み

人が集まる場所

さっと立ち寄って、各自が自由に過ごせる場です。空間的アイコンとして人が集まる場となります。

情報発信の場所

デジタルサイネージや閲覧性の高い書架を備えたラウンジ空間で、効率よく情報を入手できるように構成されています。新刊本や話題書、雑誌の最新号など、ホットな情報をキャッチできるコーナーや学生向けの情報発信、作品展示も行っています。

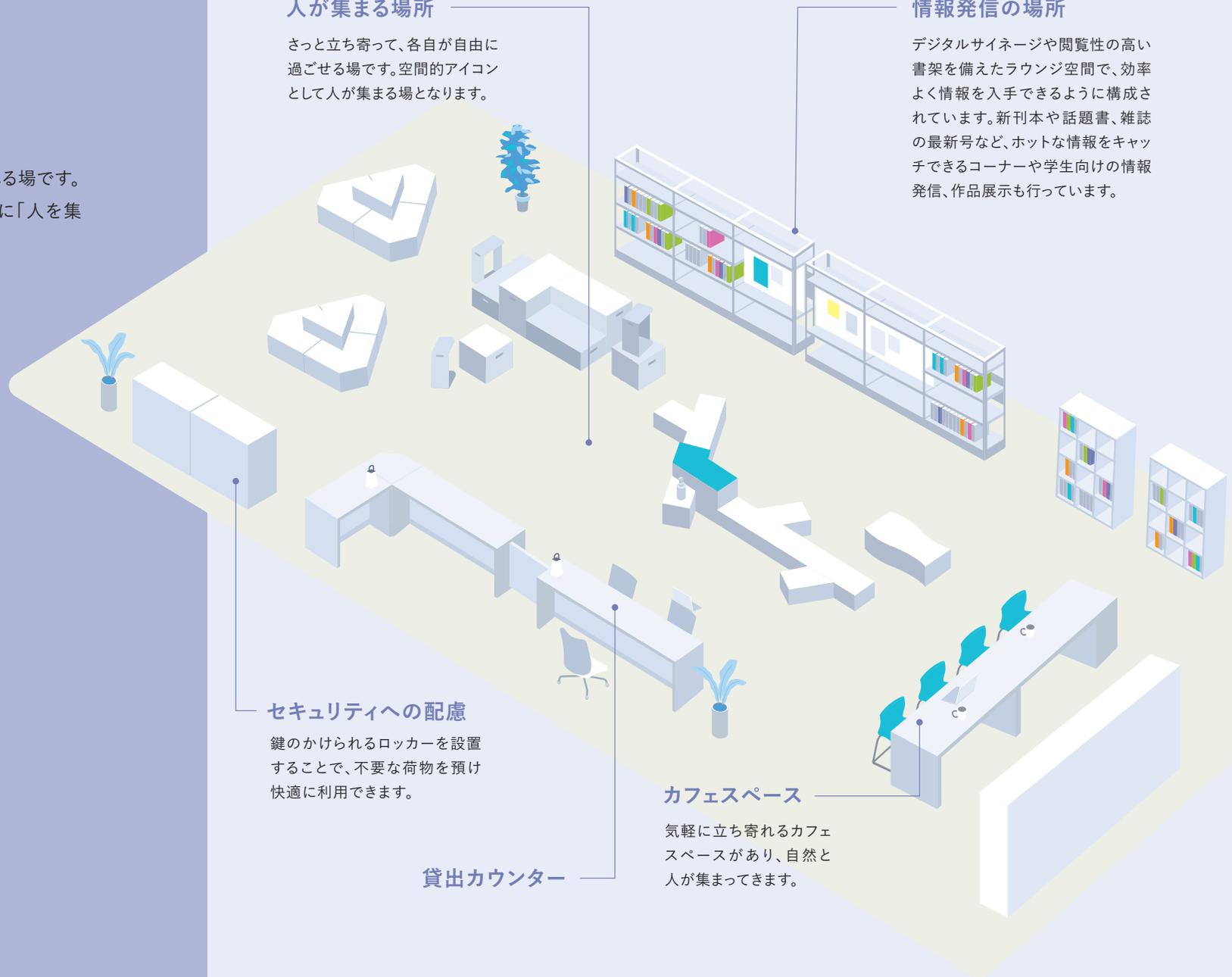
セキュリティへの配慮

鍵のかけられるロッカーを設置することで、不要な荷物を預け快適に利用できます。

カフェスペース

気軽に立ち寄れるカフェスペースがあり、自然と人が集まってきます。

貸出カウンター



PRODUCT

貸出カウンター



SEカウンター



OC組込ライブス シェルフ



OC



情報発信の場所



ライブス シェルフ



スプリント
OC対応モニタースタンド



壁寄せモニタースタンド



タブレットスタンド

セキュリティへの配慮



ピクスライン 鍵付ロッカー



カフェスペース



アルトビアツァ



ライブス カウンター



スィープ

人が集まる場所



コビーズ



ドック



ライブス コラボレーション
ソファ



ライブス プーフ



アルトホワイエ

COLUMN

リフレッシュ空間の利用率

利用率、会話の発生頻度が増加

無機質な空間から、色彩・素材豊かな家具・内装へ改装をした事例では日中の平均利用率と、利用者同士の会話の発生頻度が上昇しました。



出典・株式会社オカムラ(2012年)

02 COMMUNICATION

つながる

出会った人や情報がつながる場

仲間と待ち合わせしたり、チームメンバー同士のインフォーマルなコミュニケーションを可能にするカジュアルな雰囲気的空間です。

長時間の学習・研究の間に休憩するスペースとして、軽食などがとれるカフェ機能も備えていると、より有効な空間活用につながります。

POINT

- リラックスしてコミュニケーションが行える



↓ こちらからBIMデータ等をDLできます。



※意匠登録済み



カジュアルにコミュニケーション

ファミレススタイルのボックスベンチは視線を気にせずリラックスしてコミュニケーションできます。また移動間仕切りを組み合わせる事で、より視線を遮る空間にすることができます。

ディスプレイを使った情報共有

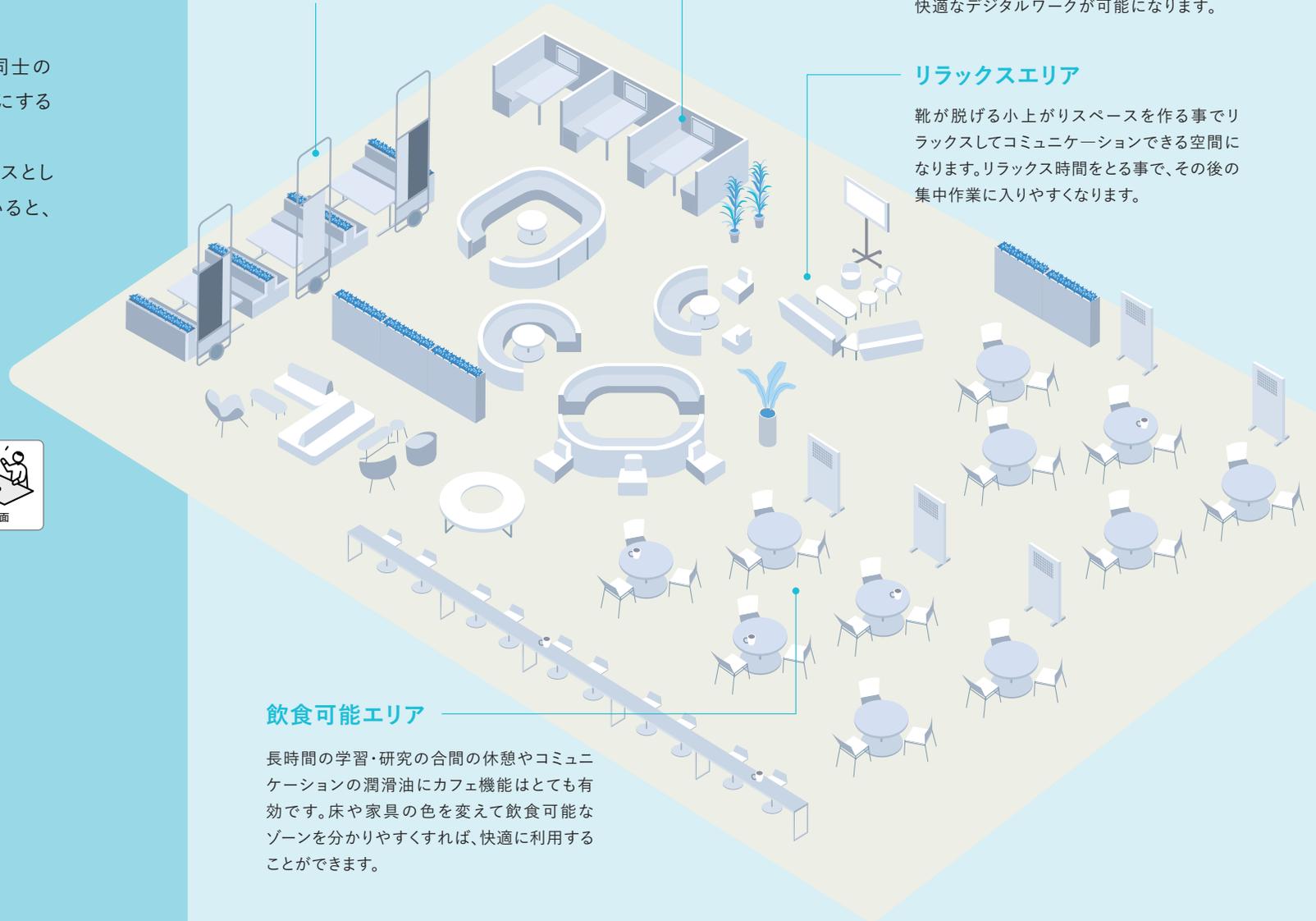
ノートパソコンを利用したグループワークでは、グループの全員がモニターで一緒に画面を見ながら情報を共有することができます。資料作成などにおいても、意思疎通のとれた快適なデジタルワークが可能になります。

リラクセスエリア

靴が脱げる小上がりスペースを作る事でリラックスしてコミュニケーションできる空間になります。リラックス時間をとる事で、その後の集中作業に入りやすくなります。

飲食可能エリア

長時間の学習・研究の合間の休憩やコミュニケーションの潤滑油にカフェ機能はとても有効です。床や家具の色を変えて飲食可能なゾーンを分かりやすくすれば、快適に利用することができます。



PRODUCT

カジュアルに コミュニケーション



ライブス スライドパネル&プレスタ

ディスプレイを使った情報共有



プレスタ プースユニット



モニタースタンドS

リラックスエリア



アルトピアッツァ ブロックソファ



マメット



プレスタ
プランターボックス



パークワーク
コミュニケーションパーク

飲食可能エリア



モノス



9370 チェア



スীব



ライブス カフェ チェア



アマタ



エナ



アルトピアッツァ
カウンター・テーブル



ネル



ライブス カフェ テーブル



ライブス ミーティング テーブル



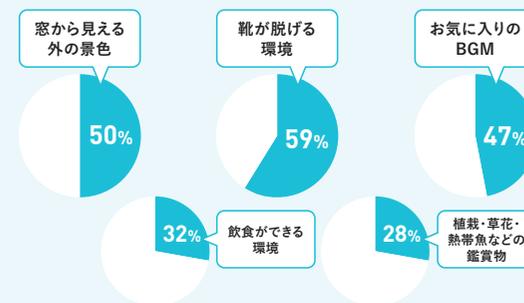
アルトホワイエ メインカウンター



COLUMN

リラックスすることの効果

集中作業に入りやすくなるきっかけは、人それぞれです。調査からは、景色が見える場所で靴を脱いでリラックスすることが効果的であるとわかりました。



出典: オフィスと人のよい関係株式会社オカムラ(2007年)

03 COLLABORATION

協業する

つながりから生まれたものを カタチにする協業の場

コラボレーションする人数にあわせてテーブル数を増減できる可動式のテーブルとチェアに加え、各自の発想を表現するホワイトボードやICT機器が必要です。学生のニーズに合わせ、オープンとクローズいずれかの空間を選択できることも大切です。

POINT

- 座席を固定的に使ったり、逆にフレキシブルに動かして使ったりとワークの内容に合わせて使い分ける
- アクティブラーニングを行うエリアです。
P18のアクティブラーニング教室もご参照下さい



ひらめく



ディスカッション



グループワーク



ペアワーク



対面

↓ こちらからBIMデータ等をDLできます。



※意匠登録済み

B. AGILE

自由に家具を組み替えて使うエリアです。1つの作業中はレイアウトを固定して使用する事が多いです。

A-1.Movable(座りスタイル)

自由に家具を可動させて使うエリアです。利用中にレイアウト変更したりと、家具と人が恒常的に動くエリアです。



C.共創空間

グループでの作業性を重視し、家具は半固定的に使うエリアです。グループで成果物を作る作業に適しています。

A-2.Movable(立ちスタイル)

短いフェーズのチームミーティングに最適です。ワークに合わせて、その場で即座にレイアウトを変えて使用します。

Room in room

PRODUCT

Movable (座りスタイル)



ビーノ (前傾タイプ) クリール サリトロ クレイドル ルナ グラータ マルカ プロスタック e-チェア

Movable (立ちスタイル)



スタフィットII クロスコ ハイテーブル ライズフィットIII ビレエット

AGILE



スプリント OC対応 モニタースタンド フィエリーII ブリンクス アレット

共創空間



アクティア フェロー クロスコ ライプス ミーティングテーブル

Room in room



ライプス ポストビーム & ライプス スライド パネル ロッジ

サポートツール

デジタル ツール



OC対応 モニタースタンドS スプリント OC対応 モニタースタンド OC アクセス ボール プロジェクター ワゴン

アナログ ツール



クレボ スプリント



COLUMN

座席を移動することの効果は？

授業のように少し緊張感が必要な場合は座席を固定し、リラックスしてアイデアを出しながら作業したい場合は座席をフレキシブルにしてみると良いでしょう。

出典：徳島大学と株式会社オカムラとの共同研究(2015)

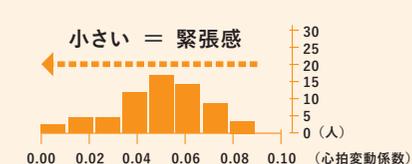
座席配置を

フレキシブルにした場合



座席配置を

固定した場合



04 PERSONAL WORK

熟考する

考えを深める熟考の場

自分の思考を深化させたり、他者の意見との整合性を見出すために熟考する場です。

集中しやすい環境を数パターン用意し、個性や状況に応じた環境を選択できると、より効率が上がります。

POINT

- 他からの視線を気にせず、集中できる
- 騒音がなく静かで集中できる



↓ こちらからBIMデータ等をDLできます。



※意匠登録済み

オープンな集中空間

視界が開けたオープンな環境の中で集中するための空間です。仕切られた圧迫感を感じず、利用者が少ない時には資料を広げて天板を広々と活用することもできます。

個室の集中空間

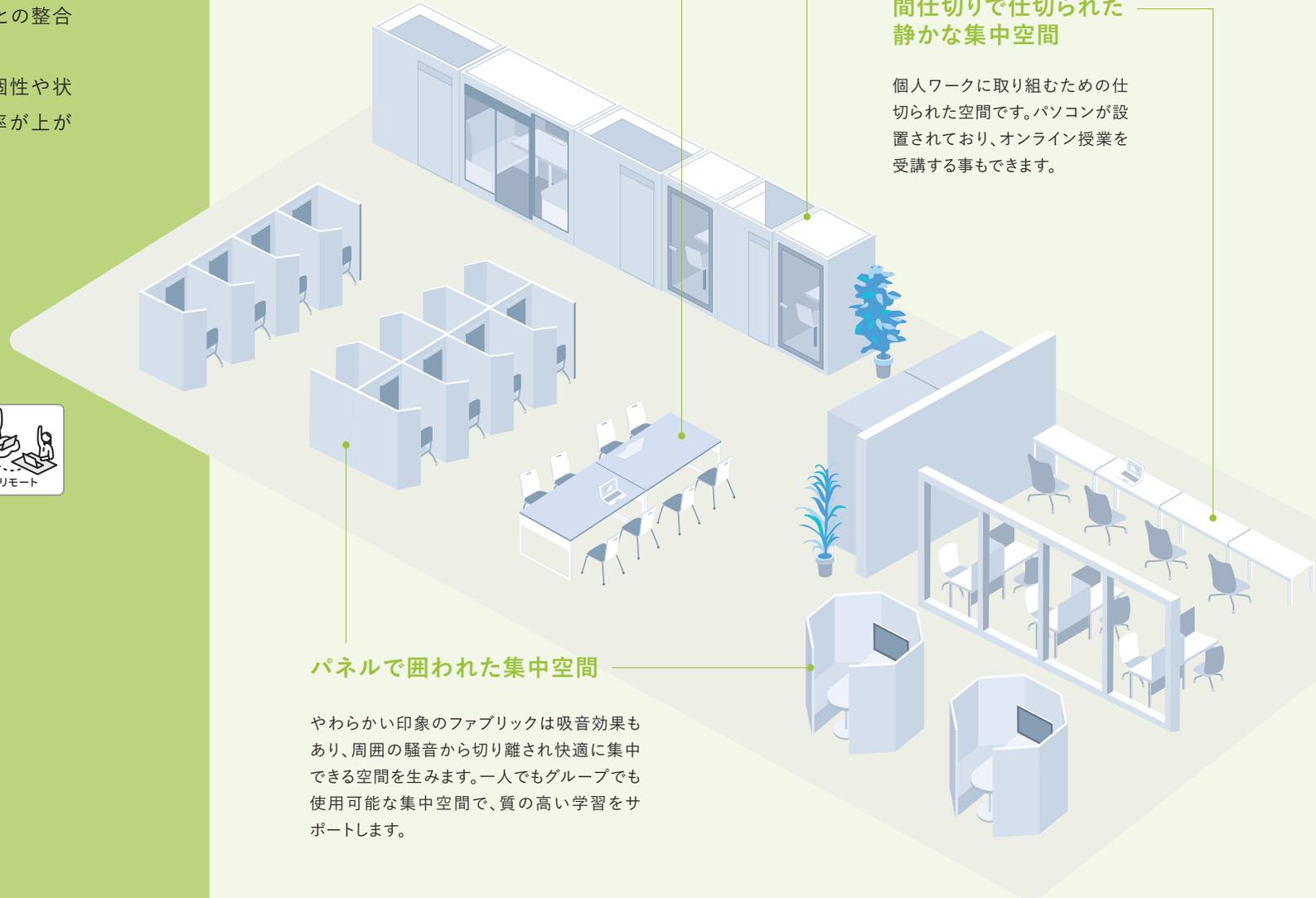
クローズな空間で個人作業に集中できる。

間仕切りで仕切られた静かな集中空間

個人ワークに取り組むための仕切られた空間です。パソコンが設置されており、オンライン授業を受講する事もできます。

パネルで囲われた集中空間

やわらかい印象のファブリックは吸音効果もあり、周囲の騒音から切り離され快適に集中できる空間を生みます。一人でもグループでも使用可能な集中空間で、質の高い学習をサポートします。



PRODUCT

個室の集中空間



フルクローズ:
テレキューブ

セミクローズ:
スノーハット2

オープンな集中空間



ソリスト・ライブラリー

モノス

間仕切りで仕切られた 静かな集中空間



プレント

パネルで囲われた集中空間



プレスタ
ワークステーションタイプ



プレスタ
ブースユニット



ライブス パーティション
ミーティングブース



ドレーブ



ココモリ



プレスタ
個室ブース



セリカパネル付き



ドレーブ
ミーティングブース



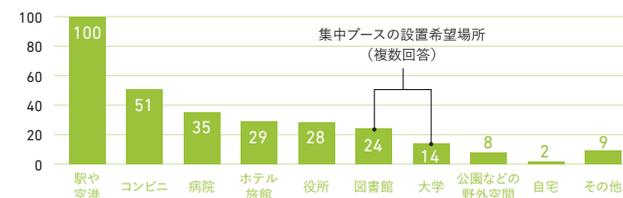
マッフルプラス



COLUMN

集中ブース(テレキューブ by Okamura)の利用実態調査

設置希望場所として「駅や空港」などの移動途中への設置を選択している人が多くいますが、図書館や大学への設置希望もあります。



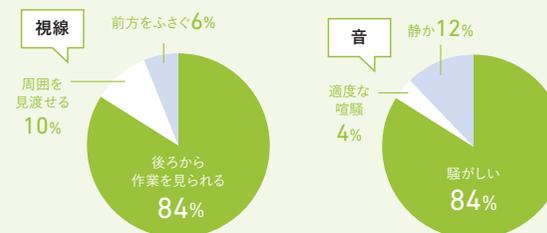
集中ブースの利用者の感想

視線と音は集中を妨げるものの代表ですが、気になるものにも種類があります。調査では、視線の場合は「後ろから作業を見られること」、音の場合は、「騒がしいこと」が集中しにくい条件としてあがりました。



出典:テレキューブ利用アンケート 株式会社オカムラ(2019年)

集中しにくい条件は?



出典:The Questionnaire of "Quiet"アンケート調査結果株式会社オカムラ(2013年)

05 PRESENTATION

発表する

協業と熟考によって生まれたものを発表する場

発表規模により、スペース・機器を自由に使えることが大切です。

また発表形態もアナログ・デジタルに対応する設備が求められます。

POINT

- 誰でも立ち寄れる開放的で自由な雰囲気づくり
- 人数の増減に対応できる可動アイテム



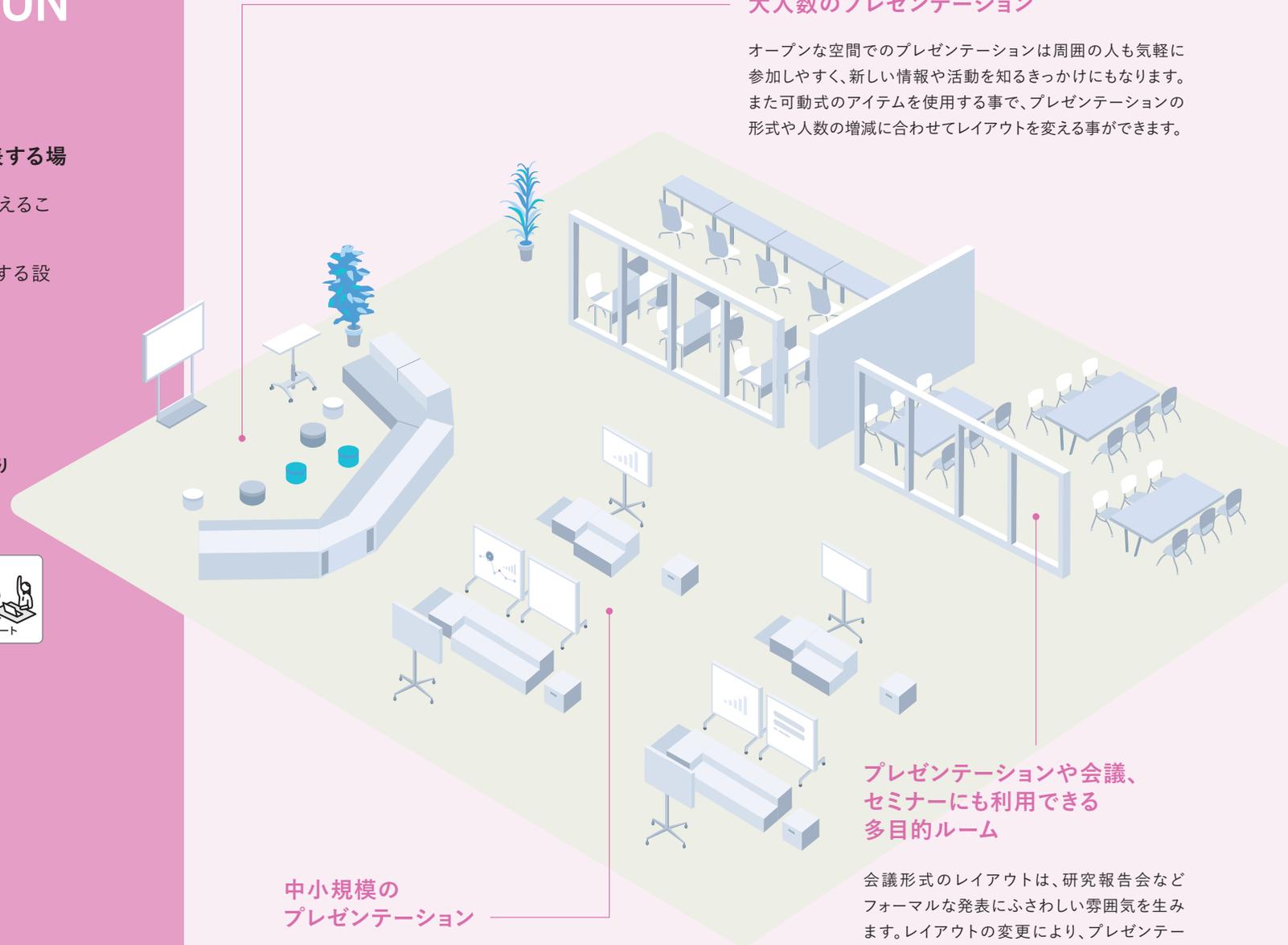
↓ こちらからBIMデータ等をDLできます。



※意匠登録済み

大人数のプレゼンテーション

オープンな空間でのプレゼンテーションは周囲の人も気軽に参加しやすく、新しい情報や活動を知るきっかけにもなります。また可動式のアイテムを使用する事で、プレゼンテーションの形式や人数の増減に合わせてレイアウトを変える事ができます。



中小規模のプレゼンテーション

自由に使えるプロジェクターやホワイトボードがある事で、気軽に自分の考えを発表できる。

プレゼンテーションや会議、セミナーにも利用できる多目的ルーム

会議形式のレイアウトは、研究報告会などフォーマルな発表にふさわしい雰囲気を生みます。レイアウトの変更により、プレゼンテーションやセミナーなど状況に合わせた多様な展開が可能です。

PRODUCT

大人数のプレゼンテーション



プレスタ ステップベンチ



モニタースタンドS
大型モニタータイプ



壁寄せモニタースタンド



ライブス プーフ



スタフィットII

中小規模のプレゼンテーション



ツースアルファ



クレボ



ドック

ICTツール ソリューション



マックスハブ



壁寄せモニタースタンド

プレゼンテーションや会議、 セミナーにも利用できる 多目的ルーム



ブリックス



L-テーブル



インターアクトNT



マルカ



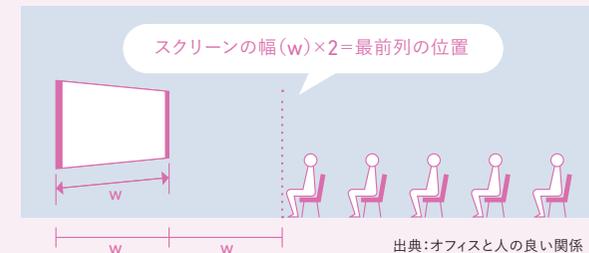
フラプター



COLUMN

スクリーンの最適な大きさは？

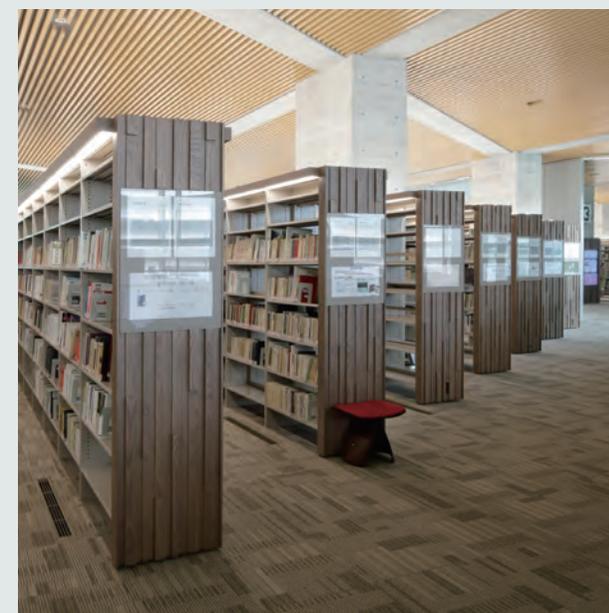
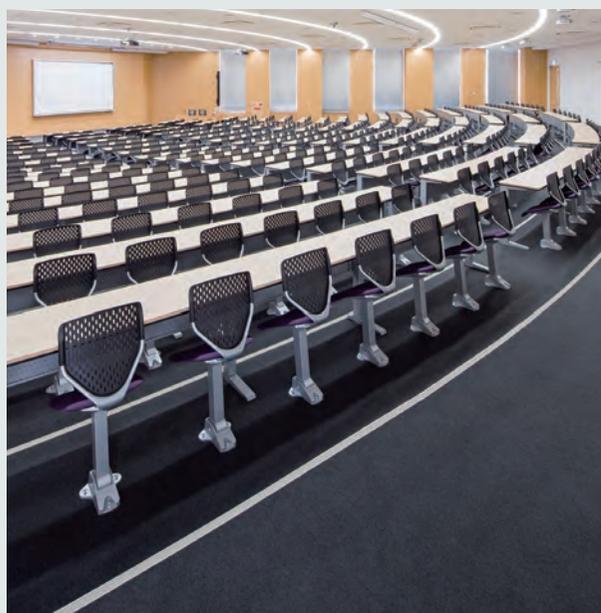
座席は、スクリーンの中心から40°以内で幅がスクリーンの3~6倍までが見やすい位置とされています。最前列もスクリーンの幅を目安に設えると良いでしょう。



出典: オフィスと人の良い関係
株式会社オカムラ(2007年)

CAMPUS SPACE CREATION

キャンパスを
より新しい学びの
場にする空間づくり



アクティブラーニング教室	18
レクチャーラーニング教室	21
ランチ・カフェ	23
図書館	25
キャリアセンター	27
研究エリア	29
学生 commons	31
ドミトリー	32
その他	33

Active Learning

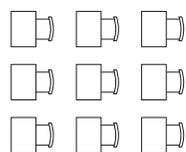
アクティブラーニング教室

アクティブラーニングとは

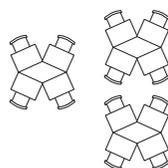
課題を発見するための手掛かりとなる情報が容易に取得でき、学生自身が仲間や教員と密にコミュニケーションをとりながら一つの課題を解決へと導いていくことのできる知識創造型の学習スタイルのことです。従来の講義のような、単に与えられるだけの「知識」ではない、自らの「創造知(知恵)」を生み出す能力が養成できます。

○ 授業のフェーズとレイアウト

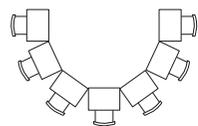
L Lecture



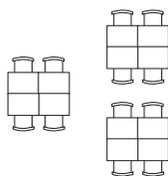
T Think



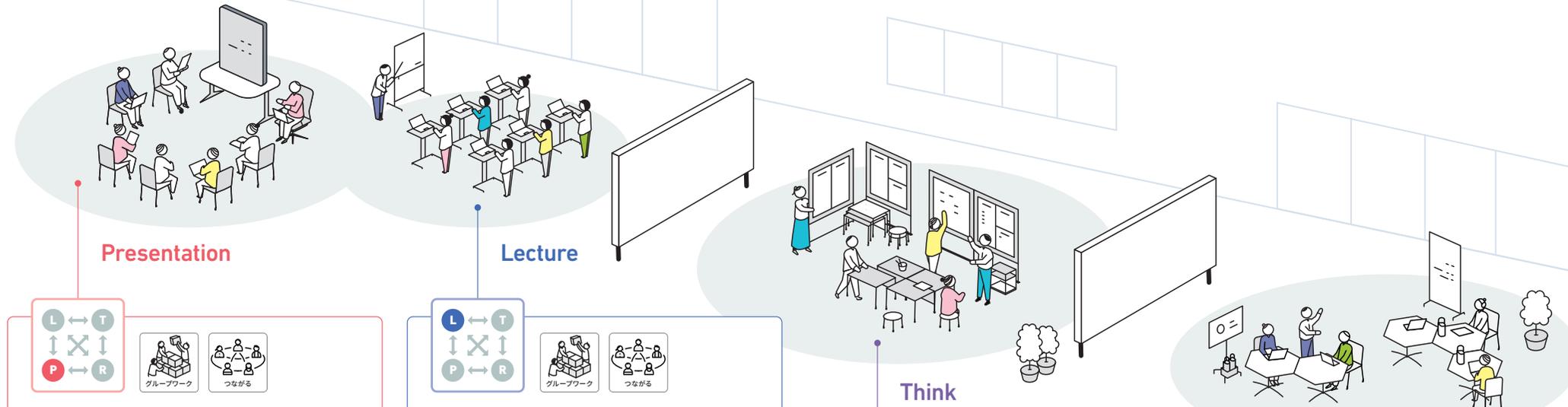
P Presentation



R Realize



各エリアでは4つのフェーズの変化に柔軟に対応し、アクティブな授業のサポートを実現



Presentation



ムーバブルエリア 座りスタイル

スピード: レイアウト変更 ●●●
作業面積: 天板面の大きさ ●○○

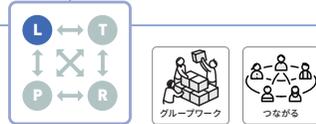
プロジェクトの期間が短く、フェーズの行き来の多い授業に最適です。スムーズに、よりスピーディーに変化に対応します。



テーブル付
チェアが
おすすめです

クリール

Lecture



ムーバブルエリア 立ちスタイル

スピード: レイアウト変更 ●●●●
作業面積: 天板面の大きさ ●○○○

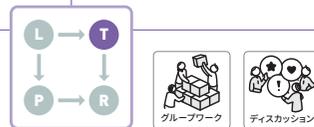
短いフェーズのチームミーティングに最適です。モニターを使用し、お互いの資料を映すなど、授業前に短時間で共有したり、すり合わせするような作業におすすめです。



天板高を変えられる
デスクが
おすすめです

スタフィットII

Think



アジャイルエリア

スピード: レイアウト変更 ●●○○
作業面積: 天板面の大きさ ●●○○

プロジェクトの期間が中長期で紙を使ったり、十分な天板スペースを必要とする授業に最適です。キャスター付きのテーブルや組み換えしやすい天板形状でフェーズの変化にスムーズに対応します。



パーソナル
テーブルが
おすすめです

フィエリーII

Realize



共創空間

スピード: レイアウト変更 ●○○○
作業面積: 天板面の大きさ ●●●●

グループ作業を中心に行う授業に最適です。天板面積が広く、グループでの成果物を作る作業に適しています。キャスター付きで、グループの人数に合わせて組み換えしやすい天板形状のテーブルがおすすめです。



グループ
テーブルが
おすすめです

アクティアフェロー

協働学習が効率的に行えるICTの環境づくり①

モバイル端末で、AVシステムを一括制御

タブレットやスマホでAVシステム
の操作が可能。教師が児童生徒
の様子を見回りながら操作。



AViot

ワイヤレスで 簡単・即座に資料共有

端末の情報や作成した資料をワ
イヤレスで共有。複数端末から同
時投影も可能。



Solstice Pod

PRODUCT よりアクティブな学習環境を実現する多彩な製品ラインナップ

チェア

テーブル付タイプ



パート
(ネスティングタイプ)



クリール



パート
(回転タイプ)



グラータ



マルカ



ルナ



サリトロ

回転タイプ



スプリント ツール



パート

回転タイプ荷物置きタイプ



e-チェア



クレイドル

前傾タイプ



ピアノ前傾



ライブス
フォールディングチェア



ルネッタ

スタッキングタイプ



パート



リータII



レーテ



ケット

ネスティングタイプ



ルナ



クリール



サリトロ



プロスタック

テーブル・コミュニケーション・ICTサポート

パーソナルテーブル



フィアリーII



フィアリーアクト



プリンクス



スタフィットII



スプリント テーブル

コミュニケーションツール



クレボ



スプリント
ホワイトボード



スプリント
ワゴン

グループテーブル



アクティア フェロー



Lテーブル

ICTサポート



モニター
スタンド93H



モニター
スタンドS



スプリント OC対応
モニタースタンド



壁寄せ
モニタースタンド

COLUMN

日本の森林に眠る未利用材を、 新たなマテリアルとして有効活用

木材を育てる過程で発生する、枝葉などの不要な部分。これらの「未利用材」が森林に残されていると、台風や大雨の際に災害をもたらす危険性があります。



オカムラは、この社会的に重要な課題を解決するため、未利用材や流木などを活かした製品をつくっています。お客様、自治体、社会。それぞれの「価値」につながる家具づくりに挑戦しています。



未利用材
スプリントテーブル

未利用材の
プロジェクトについて
詳しくはこちら



Lecture Learning

レクチャーラーニング教室

講義への高い集中力を サポートする環境を実現します

大学施設において講義室は、学びの場の根底となるスペースです。この空間が快適かつ整備された環境であることは、学生たちの学習意欲を引き出すことにもつながります。授業内容や受講学生の人数によって効率よく空間を利用できるよう、さまざまな講義室が求められています。また、近年では ICT を活用した授業にも柔軟に対応できる設備が必要です。



リモート



対面



自宅学習



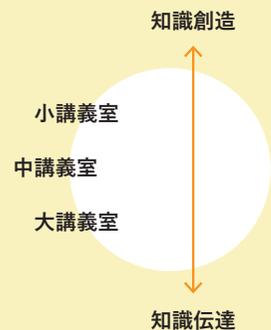
講義



パーソナルワーク



オンライン学習



小講義室

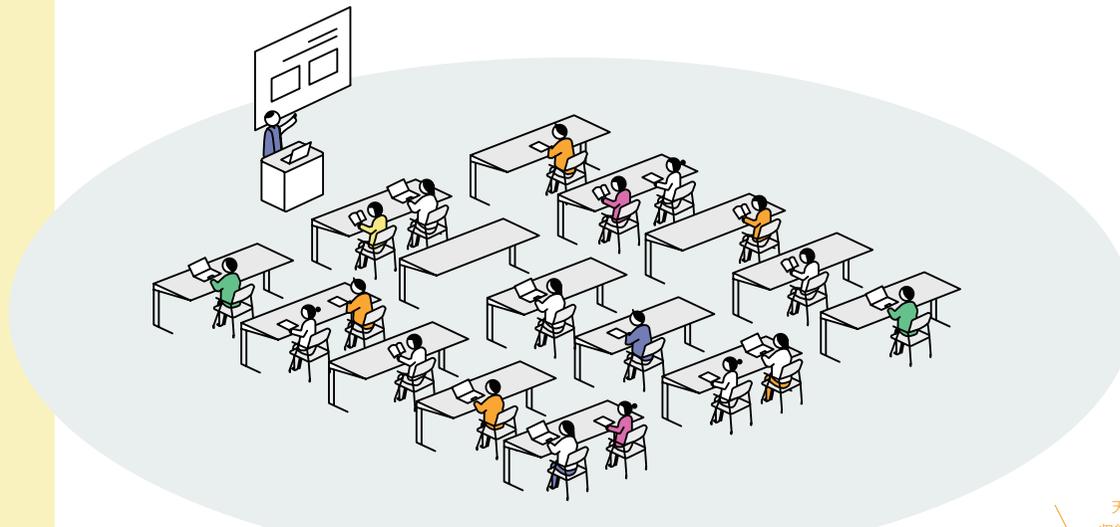
小講義室では、個人用のデスク・チェアを配置し、少人数指導やゼミ形式の授業に対応しやすい環境を整備します。



一人用のデスクが
おすすめです



レクチャーデスク



中講義室

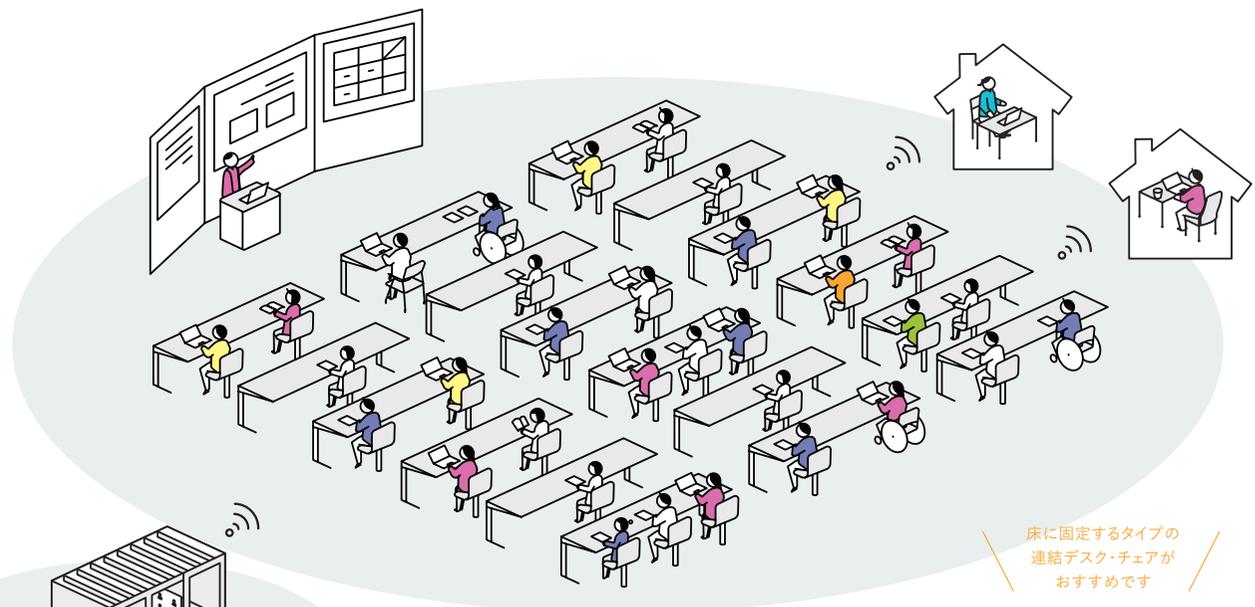
中講義室には2~3人で使用する可動式のテーブルを設置し、講義内容に応じてレイアウト変更が容易で、フレキシブルに活用できる空間づくりが大切です。



天板を跳ね上げて
収納できるテーブルが
おすすめです



ブリックス



リモート授業

大講義室

大講義室は、社会人教育や公開セミナーの場として利用するケースも多いため、大学の顔としての空間づくりも大切です。

床に固定するタイプの
連結デスク・チェアが
おすすめです



ラータストレスII

COLUMN

リモート授業を効果的に実施する工夫

下のイラスト(写真)の設備を用意すると、教員による円滑かつ効果的なリモート授業が可能となります。他にも、受講者側からのリアクション(投票)が受け取れる仕組みも重要です。自室研究室がない教員の方には、リモート授業の配信場所としてのクローズ型ワークスペース「スノーハット」、「TELECUBE」をお勧めします。



- カメラ
- 大型ディスプレイ
- サブモニター
(カメラ映像の確認用)
- ノートPC
(授業コンテンツ配信用)

製品:プレント(テーブル、テーブルオプション)、スフィア(イス)

PRODUCT

連結テーブル・チェアシリーズ



ラータス クアトロ ラータス セプト ラータス トレスR
 ラータス トレスII ラータス オルタナ ラータス EG

講義室向けデスクシリーズ



レクチャーデスク フィエリアクト フィエリーII
 プリンクス Lテーブル

講義室向けチェアシリーズ



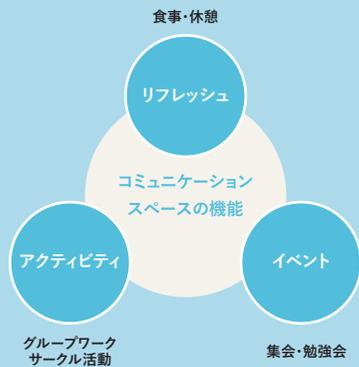
モノス スカールフト e-チェア クリール
 パート モルテ ケツテ

Lunch・Cafe

ランチ・カフェスペース

お互いに刺激し合い高め合う、 学生のためのコミュニケーションスペース

ランチタイムなどの食事の時間は、
授業での疲れを癒やすリフレッシュ空間であり、
学生同士のインフォーマルな
コミュニケーションをはかるための大切な空間です。
一方で、サークルやゼミのミーティングなど、
食事以外の用途にも多目的に利用されることも多く、
生活には欠かせない空間です。



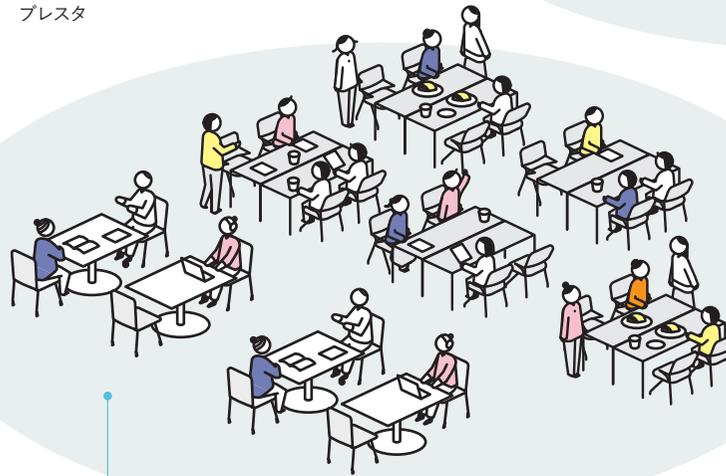
カフェエリア

入口から離れた静かな場所には、ゆったり
過ごせるカフェエリアを。ソファやハイ
カウンターを配置し、落ち着いた雰囲気
で会話や食事を楽しむ空間です。



プレスタ

ファミレスソファが
おすすめです



メインダイニング

多くの学生が集まる中央
部には、メインダイニング
エリアを。グループテー
ブルを配置し、多くの学生が
利用できるようにします。

ランチ向けテーブル&チェアが
おすすめです



ライブス
ミーティングテーブル

モノス

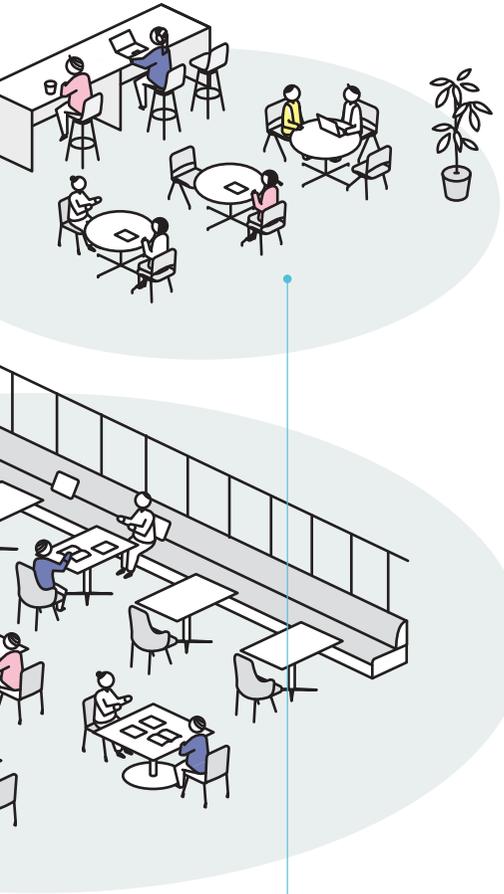
カジュアルエリア

1人でも複数人でも気軽に、
多用途に使えるエリアです。
サークルやゼミのミーティ
ングなど、食事以外の用途に
も利用できます。

可動テーブルが
おすすめです



アクティアフェロー



PRODUCT

ランチテーブル



ライブス
ミーティングテーブル



フレッシュ



アクティブフロー



ネル



アルトピッツァ



ライブスミーティングテーブル
天板フラップタイプ

ランチチェア



モノス



スイープ



9370 チェア



ライブス カフェ チェア



ブック



モルテ



アミタ



メルチェ



L114



L125



リンケージ



エナ



L114



ポート



L171



アルタ



L524

カウンター

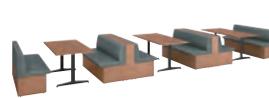


ライブス カウンター



アルトピッツァ

ファミレスベンチ



プレスタ

ラウンジ向けソファ



パーソナルソファ



ライブス コラボレーションソファ



ツースアルファ



アルトリビング

クイックエリア

入口の近くは、短時間でお弁当や軽食をとる人にも使いやすいエリアです。ハイカウンター席もおすすめです。

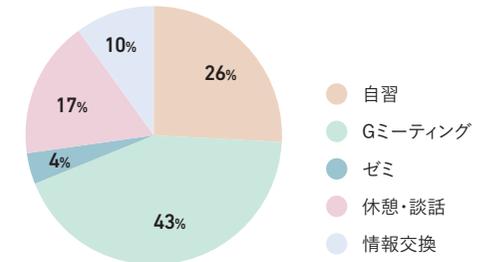


ハイカウンターがおすすめです

COLUMN

ランチルームの多目的利用

ランチルームの課題は、昼食などの混雑時と、それ以外の時間帯の利用率に著しい差があることです。右のグラフは、ある大学357名の学生を対象に「自由に使用できる場所(多目的スペース)」についての調査結果です。「休憩・談話」以外にも、「自習・ゼミ・情報交換」など多目的に利用している実態が見えてきました。飲食可能なリラックス空間としての活用を想定した設備を整えることで、より深く、幅の広い学習環境を造ることが出来ます。



Library

図書館

さまざまな学習シーンに対応できる 図書館を実現します

一人で静かに自学自習したり、
書籍を閲覧する従来の機能に加え、
グループで学習したりとラーニングコモンズ機能を
図書館にも設ける事が重要です。

これまで



情報収集



パーソナルワーク



これから



グループワーク



ひらめく



ディスカッション

窓辺スペース



閲覧スペース

落ち着いた雰囲気ですっきりと書籍と向き合える空間です。

グループワーク
スペース

教員、学生が自由にディスカッション、自主学習する場所です。オープンでアクティブな雰囲気の空間です。

グループテーブルが
おすすめです



アクティブフェロー

開架スペース

効率的な配架と利用者の利便性を両立する事が重要です。

おすすめです



ライブライン

インフォメーション

リフレッシュスペース

ラウンジスペース

閲覧デスクが
おすすめです



ソリスト・ライブラリー

閉架

限られた空間を最大限
に有効活用し、書籍を
収納します。

集密書架が
おすすめです



モービルラック

交流スペース

地域の公開講座などを
開き、様々な人との交
流を図ります。



PRODUCT

書架スペース



ライブライン



リブロスS



ナレッジライブ



リブロスW-G



リブロスW



ソニックセイバー

閉架



メディアランナー



モービルラック



63ラック

カウンター



RBカウンター



SEカウンター



リブロスクロスメディア

ラウンジ



雑誌架・新聞架



PC検索台



コピーズ



フレール

閲覧デスク



イコイ



ソリスト・ライブラリー



キャレルデスク



スパーダG



リブティッシュ

交流スペース



壁寄せモニタースタンド

COLUMN

書籍の落下防止

書架の転倒を抑制する壁固定や床固定に加えて、さらに書籍の落下を防止するオプションや転倒防止をサポートするオプションを品揃えています。長年の実績を生かし、さらに耐震試験を積み重ねてその効果を証明しています。

4度傾斜棚



頭つなぎ材



感知式落下防止バー



ライブラリー
総合カタログを
ご覧ください

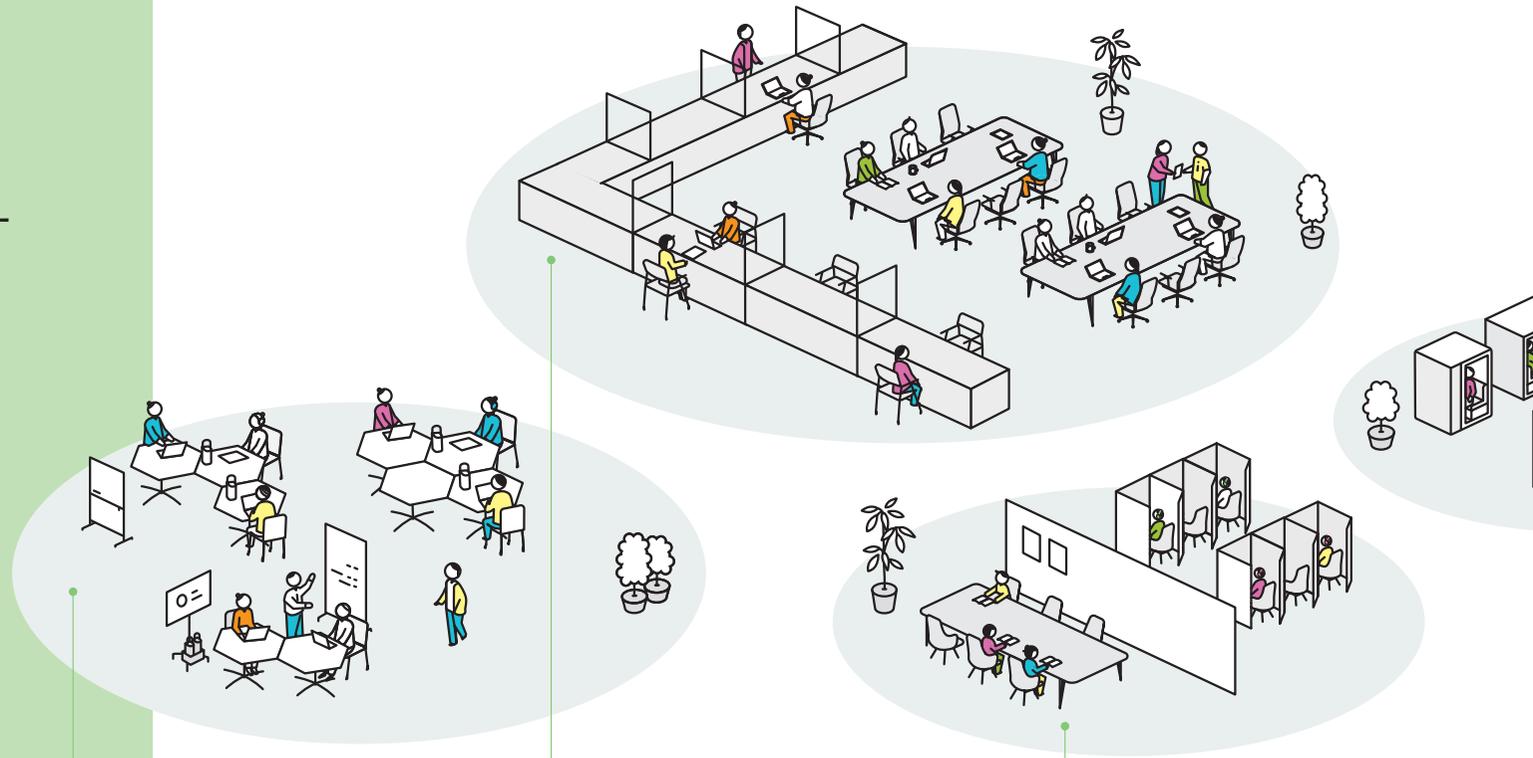


Career Center

キャリアセンター

学生のさまざまな活動をサポートします

機能的な職員の執務スペースと合わせて、
学生が相談しやすい備えが必要です。
また、就職活動をサポートする為の
ブースや情報をスムーズに得る事ができる
環境整備も必要です。



オープンスペース



パソコンや掲示板を配置し、
学生が自由に情報検索できるスペースです。

グループワーク用家具が
おすすめです



アクティアフェロー



クリール



クレボ

カウンター



カウンターは、学生の相談を受けやすいように仕切り板を設けるのがおすすめです。



リブ roskrossメディア

ブース



外部の方との打合せや、学生との1対1の面談など、用途に合わせて選べるようにさまざまなタイプのブースをご用意することをおすすめします。



テレキューブ

①フルクローズ&セミクローズ

一人用ブースでは、企業とのWEB面談およびその練習やエントリー動画制作も可能。二人用ブースでは、プライバシーに配慮しながらじっくり相談することができます。全ての面が囲われた個室空間は遮音、吸音、照明、換気の各機能が室内の快適性を高め、集中環境を提供します。

②ワークブース

周囲の視線を適度に遮り、圧迫感のないこもり空間です。

PRODUCT

フルクローズ



テレキューブ(1人用)



テレキューブ(2人用)



スノーハット2

セミクローズ

ワークブース



ドレープ(1人用)



ドレープ
(ミーティングブース)



ココモリ(1人用)



プレスタ



マッフルプラス

カウンター



RBカウンター



SEカウンター



リプロスクロスメディア

職員エリア



トート



ゾリスト



アドバンス



リーガス



スィフトネック



COLUMN

リモート面接で重要な照明

コロナ禍でリモート面接が増えており、就職活動支援のためにワークブースを学生サポートセンターへ導入する事が増えてきています。WEB面接時の顔写りを良く見せる為に、写真のような女優ライトを使用し、カメラ映りがよくなるような設えをする事が重要です。



有機ELタスクライト(DD67BA-G696)

Laboratory

研究エリア

成果を最大限にひきだすための研究空間

研究室で行われる機能を「個人学習」中心か、「共同学習」中心か、また、研究室の主な使用目的が「研究」中心か、「教育」中心かによって空間に求められる要素は異なります。限られた空間をより効率的・効果的に構成し、そこで研究する教員・研究生の成果を最大限にひきだす空間づくりが大切です。

● ラボラトリー



ペアワーク



パーソナルワーク

● オープンラボラトリー



ひらめく



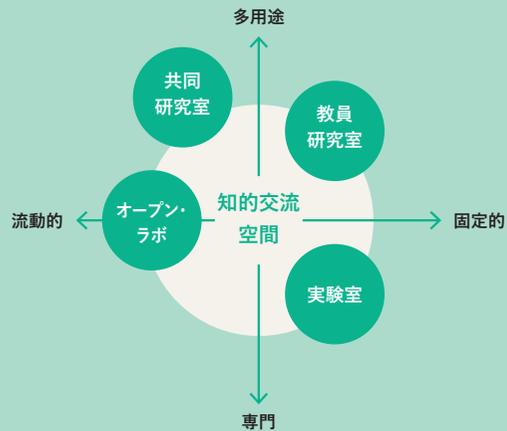
ディスカッション



つながる



グループワーク



教員研究室

教員の個別デスク、また所属研究生（院生）との共同研究・作業に適したレイアウトが大切です。研究生席は人員の増減に対応可能であるとよいです。

電動昇降機がおすすめです



スイフトネックス

院生研究室

研究生の人数の増減にフレキシブルに対応できるレイアウト、また共同作業がしやすいレイアウトが大切です。

デスク一体型収納システムがおすすめです



フレスト

PRODUCT



フレスト



モデスト



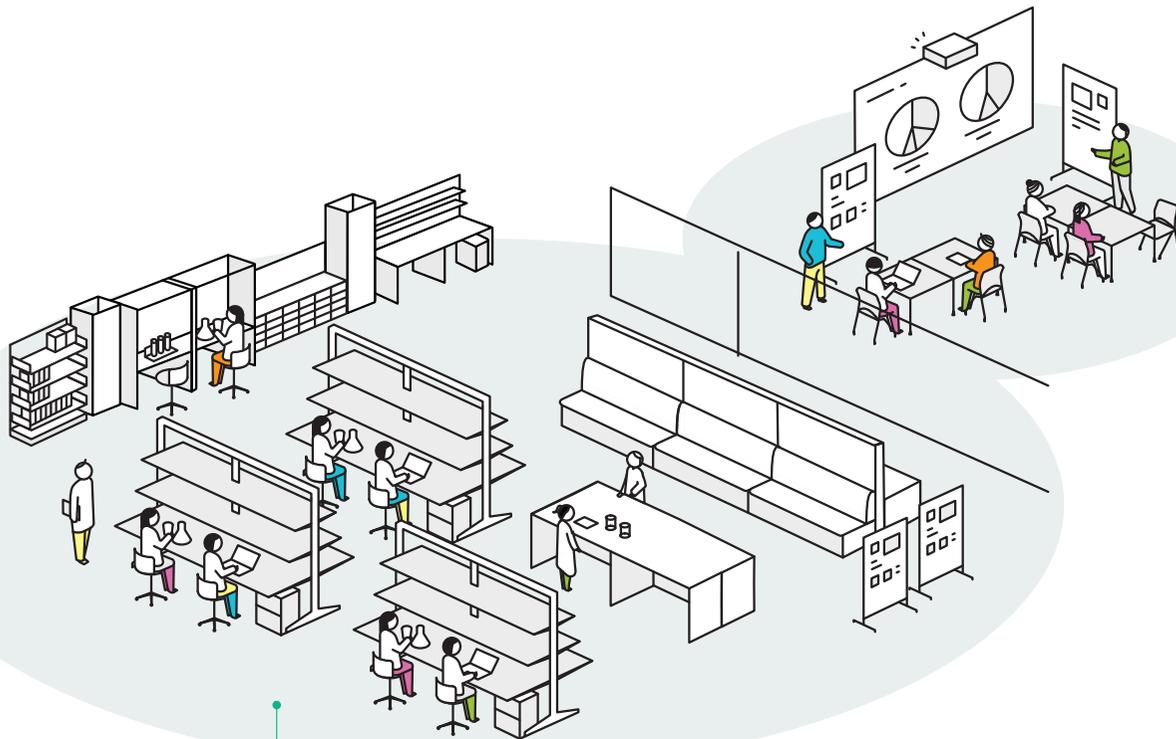
LKビット



ピスト



テクニカ



オープン・ラボラトリー

他大学や企業等、異なる分野の人々が集い交流する中から新しい発想が生まれることを促す空間です。可変できる設備を設置する事で、あるプロジェクトが終わった後でも別のプロジェクトに柔軟に対応する事が可能となります。



アクティアフェロー



L-テーブル



クリアル



クレボ

ラボラトリー

高度な実験や実習に対応した、より安全で耐久性の高い専門什器が求められます。また、近年では研究室の壁を取り払い、異分野の研究者が集う「オープン・ラボ」としての活用も求められています。

おすすめです



ピスト



テクニカ

協働学習が効率的に行えるICTの環境づくり

単焦点プロジェクター

大掛かりな天井工事が不要で手軽に設置可能。ワゴン式とも異なりレイアウト上の妨げにもならない。



研究施設総合カタログを
ご覧ください

COLUMN

オープン・ラボラトリーの空間づくりのヒント

研究エリアは、実験・実証の場だけではなく、理科学系の知識創造空間として重要な役割を担います。給排水や各種ガスの供給を天井配管にすることで実験台などの配置がフレキシブルにできる事も大切です。

また研究者同士がコミュニケーションを取れる場の設置、偶発的な発見や異分野の情報などが得られるインフォメーション・コーナーを併設することで、より効果的なイノベーションを発動させる研究環境ができます。



スチール実験台SX



木製実験台ブラテコ



ヒュームフード
リガーレ



グリーンヒュームフード
ベルデ



Student Commons

学生コモンズ

キャンパスの各所に 設けられた学習拠点

教室の外にある学生用コモンズでは、学生が授業の前に自学・自習したり、学生同士が交流したりできるさまざまなスペースが設けられています。小さなコモンズ空間を学内に点在させる事で、より繋がりが持てるようになります。



リラックス



ディスカッション



ペアワーク



パーソナルワーク



学生コモンズ

PRODUCT

おすすめです



ドレープ



アクティアフェロー



クレボ

COLUMN

進化する学生コモンズ

大学キャンパスで学生は遊牧民(ノマド)のように各教室や実習室などへ移り歩きながら学習を進めます。通学や授業の合間など、行動経路の途中の止り木のようなスペースでの学習も増えています。名古屋工業大学とオカムの共同研究による学生の行動調査では、ノマド的な学習行為は、一箇所に一定時間留まって行う学習の約二倍の頻度が見られるという結果が得られています。キャンパスの各所に設けられた学習拠点である学生コモンズは、学習活動をアクセラレイトする重要な空間環境であり、第二形態のラーニングコモンズであるとも言えます。

Dormitory

ドミトリー

快適な居住空間で、 キャンパスライフをサポート

学生寮は、学生のための居住スペースとしての役割だけでなく、学生同士がコミュニケーションを取れる事も重要です。



快適性

安全性

機能性

居住スペース

自分の時間を快適に過ごすため、収納量の確保や学習に集中しやすい環境づくりが不可欠です。また、入居者が変わったときにも気持ちよく使えるよう、耐久性の考慮が必要となります。



ラウンジスペース

居住スペースだけでなく、寮生達が集いコミュニケーションを取ったり、仲間とくつろげるスペースも大切です。



PRODUCT

ドミトリー用什器



オプション



モノス



デスク
ユニット



ワードローブ
ユニット



ベッド

ロビー・ラウンジソファ



コビーズ



LB55



ソースアルファ



2050年カーボンニュートラルに向けた 取り組み「GREEN WAVE」Road to 2050

オカムラグループは、2050年に温室効果ガス排出実質ゼロ
(カーボンニュートラル)を達成するために、
「GREEN WAVE」の取り組みを通して脱炭素社会の実現に貢献しています。



FACILITY すべての事業活動で経営資源(人・設備・材料・技術)を活用して環境負荷低減活動を実践します。
さらに、その成果をステークホルダーの皆様を提供することで、「持続可能な社会の構築」に貢献いたします。

気候変動への対応



クリーンエネルギー活用による
CO₂排出量削減

生産・物流拠点において、自家消費型太陽光発電の導入や水力発電による再生可能エネルギーへの転換等、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めています。



物量効率化による
搬送負荷低減

生産拠点から中継配送センターを経由せずに直接納品する方法を導入することにより、輸送距離を短縮し、温室効果ガス排出量の削減に結びつけています。

生物多様性保全



ビオトープの整備

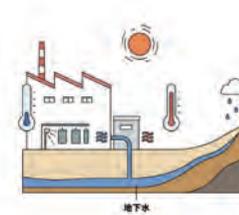
富士山の麓に位置する生産事業所では、地域固有の自然環境を重視したビオトープの設置を進めています。地域とのコミュニケーションの場、従業員の憩いの場、研修の場として活用していきます。

省資源・資源循環



水の循環利用

雨水や生産に使用した水をろ過した上で貯水槽に蓄え、トイレや散水用水、コンプレッサー循環水などに利用しています。また、塗装の前処理においても、水を循環利用するシステムを導入しており、水資源の保全に貢献しています。



地下水熱利用

富士山周辺の豊富な地下水の熱を、自然エネルギーとして冷暖房などに活用する熱交換システムを導入しています。

地域・社会との共生



オフィス事業にひもづく
社会貢献

東北芸術工科大学の学生がデザインした家具を山形県小国町の地元の木材を使って製作し、町内の3歳児に贈呈する「ファーストファニチャー」プロジェクトなど、それぞれの地域に合わせた活動を推進し社会貢献に努めています。

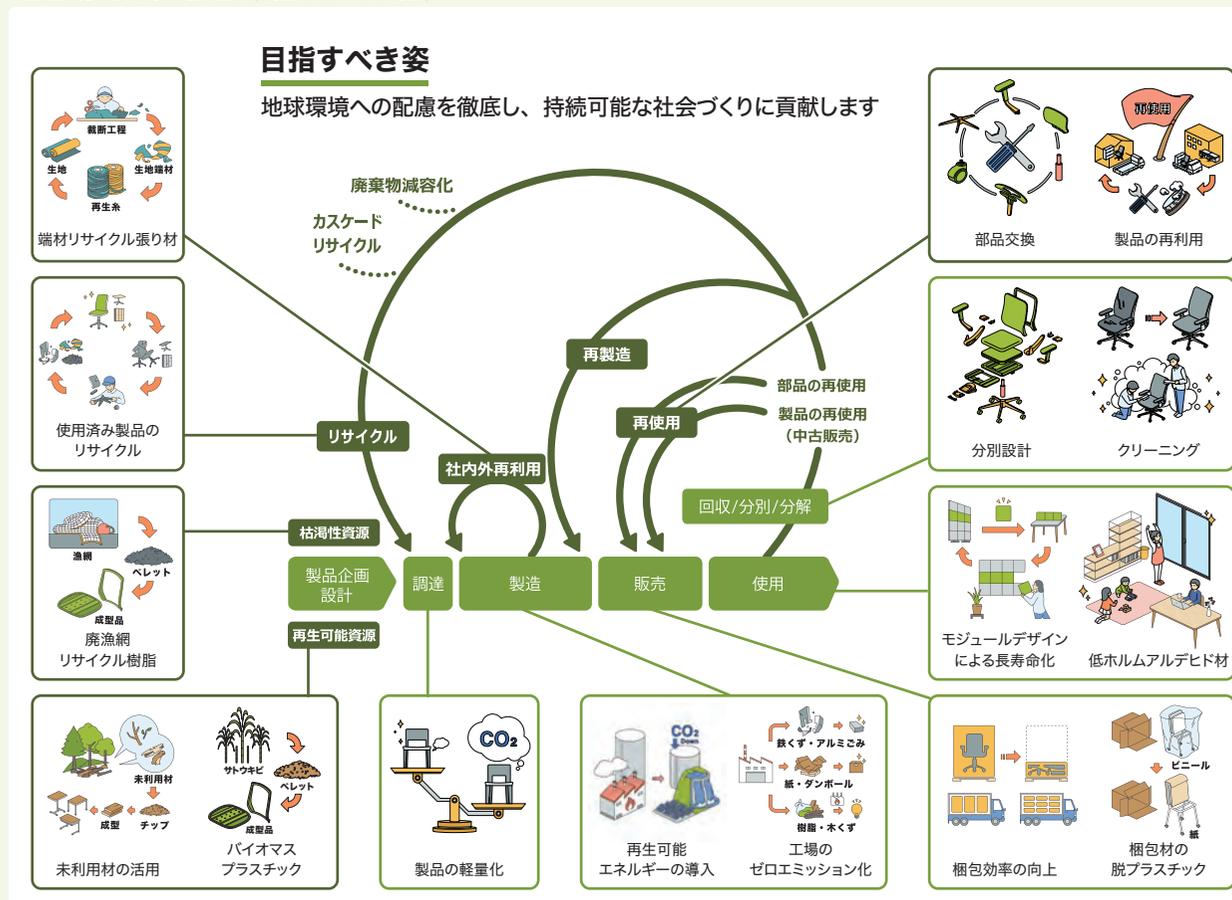


PRODUCT

サーキュラーデザイン

オカムラは、「サーキュラーエコノミー(循環経済)※」の考えに基づき、「製品企画・設計」から「調達」「製造」「販売」「メンテナンス」「再使用」「リサイクル」に至るまでのライフサイクルの中で、限りある資源をより長く、有効に使用し、廃棄物の発生を最小化するものづくりを目指すことで、地球環境への配慮を徹底し、持続可能な社会づくりに貢献します。

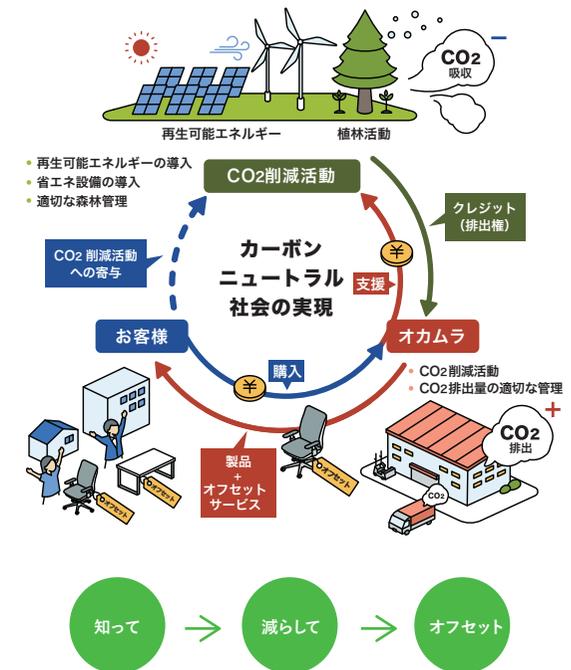
※サーキュラーエコノミーとは、従来の「大量生産・大量消費・大量廃棄」のリニアな経済(線形経済)に代わる、製品と資源の価値を可能な限り長く保全・維持し、廃棄物の発生を最小化した経済を指す(環境省ホームページより抜粋)



SERVICE

カーボンオフセットプログラム

オカムラでは製品の製造、輸送、廃棄といった製品ライフサイクルを通じて、CO₂の排出量を正しく計算し、カーボンオフセットを行うサービスを提供します。お客様は製品を購入することで、地球温暖化対策に向けた活動を支援することになります。



カーボン・オフセットとは、日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせするという考え方です。(環境省ホームページより引用)



オカムラが提案するICTソリューション

ICTソリューションが、働き方と働く空間をさらに快適に、より自由に。

センターオフィスのみならず、サテライトオフィスや自宅など、働く場所の選択肢は増え、働き方は多様化しました。ひとつのオフィスに出社するメンバーはいつも同じとは限らず、その日その瞬間のニーズに合わせて、自由で多用途に使える家具と空間をオカムラは提供してきました。使えばさらに便利になる、ストレスなく自由な働き方を実現する、ICTソリューションをご紹介します。



動画：モヤモヤをスッキリさせるICT

テクノロジーの進化と、働き方やオフィスの変化

デスクトップPCしかない固定席の時代から、ノートPCや無線LANの普及に伴い、オフィスはフリーアドレスな使い方が可能に。スマートフォンの台頭やクラウドサービス、インターネットの高速化で、ABWな働き方は当たり前になりました。テクノロジーの進化と、働き方やオフィスの変化は密接に関り、それぞれの進歩に影響を及ぼし合っていることは言うまでもありません。働き方と、働く空間と、それに溶け込むICTを、オカムラが総合力でご提案します。



参考：WORK HISTORY
(FV203X～働き方開花～より)

WEB



働く場所はより自由に
オープンな空間と
自由なレイアウトが
コミュニケーションを活性化



どこで働くときも同じように
どこでも働けるからこそ
チームに一体感を
働き方のDXを加速させるサービス

Work x D

ワーク・バイ・ディ
powered by workhub



利用予約システム

顔認証入退室

所在確認システム

ハイグレードな
WEB会議ツールシリーズ

MAXHUB

distributed by NIMO



オールインワン
ミーティングボード



ミラーリング
ボックスII

電源の配線からモニターを自由に
アジャイルにMtgスペースを整える

OC Portable battery



新発想の音声制御ツールで
参加者も周りも気持ち良く

TALKHUB II



CMF

Color Material Finish

CMFスペシャルサイト



素材力を活かしたコーディネートで 学びの空間を心地よく

CMFとは、サーフェイス(表面)を構成する3つの要素です。
オカムラはCMFが持つ3つの要素にこだわり、素材力の分析、開発を行っています。



Color

赤、青、黄などの色



Material

木、樹脂、金属などの素材



Finish

光沢、マットなどの仕上げ

CMF Vision 空間(場)ごとに、目的にあった製品と素材採用が重要です。
環境、空間に沿った具体的なキーワードの一例として“4つの世界観”を設定しました。



Playful プレイフル

様々な人が集い、情報が活発に行き交う、オープンな雰囲気。点在する様々な素材や色彩が、にぎわいのある空間を演出します。



Hygge ヒュッゲ

自然と会話が生まれやすいリラックスした雰囲気。あたたかみのある木の素材感と触り心地の良いファブリックが居心地のよい空間を演出します。



Recharge リチャージ

気持ちを整え、冷静に物事に向きあえる凛とした雰囲気。すっきりとした素材と明るくやさしい風合いが、凛とした中でも、気持ちやわらぐ空間を演出します。



Immerse イマース

一人でもチームでも腰を据えてじっくり作業ができる雰囲気。人工的な素材とあたたかみのある素材との組み合わせがクールすぎない、落ち着いた空間を演出します。

交流空間

集中空間

Sustainable Materials 限りある資源を無駄なく活用するため、石油由来のバージン材の利用を減らしていきます。

Twill [ツイル] 廃棄生地をリサイクルしたファブリック



「RENU®」(製品製造時に発生する生地端材と回収衣類をリサイクルした再生糸)と再生PET糸を使用した再生材使用率100%の生地です。

※生地に使用されているRENU®に必ずしも回収された生地端材が含まれているとは限りません。



Twillは、今まで廃棄するしかなかった繊維を循環利用していく取組み「RENU®プロジェクト」から生まれた糸を新たに素材として活用しています。

Interlock [インターロック] 使用済PETボトルをリサイクルしたファブリック



生地に使用しているバージンポリエステル糸の一部を使用済みのペットボトルからできた再生PET糸に置き換えています。



さまざまなシーンに合わせた最適な空間プランをご提案しています。



摂南大学



京都先端科学大学工学部棟



國學院大学



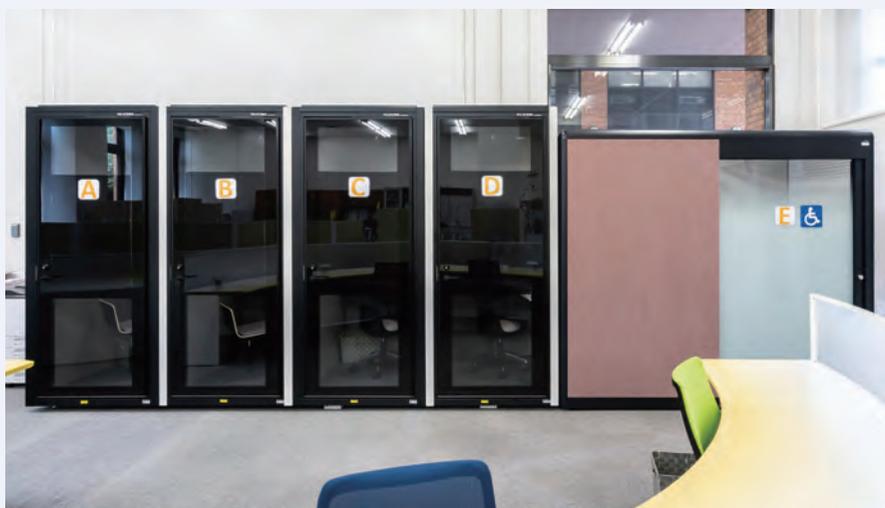
神奈川県立 保健福祉大学



京都大学医学部 ASHBi 本館



近畿大学



麗澤大学



近畿大学



立命館大学 清心館コモンズ



東北医科薬科大学



立命館大学 清心館コモンズ

人を想い、場を創る。
OKamura

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は
お客様相談室へ フリー
ダイヤル **☎0120-81-9060**
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

株式会社オカムラ

お問い合わせ・ご相談は、下記へ

2023年10月 発行

パブリック製品部 YLCK10-3O1 P.DN '23-10